



## 事業所方針



2024年4月に安田へ移転するため、今年度は中茶屋での最後の年となります。今年からは感染対策に留意しながら、行事や取り組みを実施する予定で、法人全体で運動会を行います。

日課では作業と余暇活動に取り組み、作業工賃を使つての買い物支援は選択肢を増やし外食も検討し、季節に応じた創作や昨年より始めた水耕栽培、散歩の他にも充実した内容で余暇の活動に取り組みます。また栄養士が栄養バランスを考え、利用者の方に喜んでもらえる「おいしくて楽しい給食」をより充実して提供します。

日課、行事、給食、利用者の気持ちの寄り添った丁寧な支援を意識して、利用者の方に毎日の登所が楽しみと思ってもらえる事業所となるよう、職員一同努めて参りますのでよろしくお願ひいたします。 【つるみ更生指導所 井手】

コロナウイルスの影響で、この3年間は様々な行事や外出等を制限された生活を送っていました。今後も感染症対策に留意する点は変わりませんが、利用者の方が楽しく日常を過ごせるように外出の機会を増やし、季節に合わせた取り組みやグループ外出等、屋内外を問わず行事も積極的に行っていきます。生活の中心である食事の面は、委託会社と話し合つて栄養バランスの取れたメニューの提供をします。

そして、様々なことを実現するためには職員の力が必要ですので、より多くの人材を確保していきたいと考えています。また、一人ひとりが利用者の方の生活について深く考えて行動できるような人材の育成に努め、協力し合つてより良い生活を実現していきたいと思ひます。

【つるみの郷 松尾】

生活介護事業では、集団プログラム、個別プログラムと利用者さんの希望や課題に沿つたプログラムを計画し、更に日課を充実させ、楽しく活動できる施設を目指します。

就労継続支援B型事業では、軽作業の出来高を可視化し、製パンの新商品開発と販路拡大を目指します。農園は季節の花の植替えや販売用の植物を育て、清掃ではマイスター制度を導入して作業意欲の向上に努めます。

両事業ともコロナ禍で行事や活動に制限がありましたが、感染対策を継続しながら多機能事業所を活かした行事を計画し、就労継続支援B型ではイベント参加や企画をして、事業所のPRや作業工賃向上に繋げていきたいと思ひます。

【ワークセンターつるみの郷 平山】

この3年間は、新型コロナウイルスの影響で行動が制限されることが多く、利用者の皆さんにとってストレスの多い生活となっていました。前年度末から、外食行事を再開し、今後は、季節行事や、日帰り旅行なども行う予定です。ホーム内の食事でも自室で食べてもらっていましたが、今後は食堂で食べるようにして、以前のように会話を楽しみながらの食事ができるようにしていきたいと思ひます。グループホームは、障害のある人が地域の中で、家庭的な雰囲気のもとで共同生活を行う住まいの場です。みなさんが、楽しく安心して生活できる場を目指していきます。

【グループホームつばき 松田】

## 編集後記

皆さまいかがお過ごしでしょうか？最近では感染者も少しずつ減ってきていますが、まだまだ遠出は難しい現状が続いています。その為、趣味の旅行やドライブも控えており、自宅で過ごす日々が続いています。自宅ではYouTube動画を見過ごすことが多い、最近私がおまつている動画をご紹介します。「おうちごっこ」という三人家族のYouTuberさんなのですが、ご両親と娘さんの巧みな話術や、娘さんのことを一番に考えて楽しく色んなことを学んでいく機会を作ること、否定的にならずプラスの言葉かけをする等、どこか福祉や保育の職場にも精通するようなことが多く、「こういう言い回し良いな」と思われ、是非興味がありましたら、ご視聴してみてください。

【加藤】

# つばき



第86号 発行日：2023年4月1日  
発行者：社会福祉法人 椿福祉会  
発行責任者：松田明美

〒538-0031

大阪市鶴見区茨田大宮2丁目2番25号

TEL 06-6911-1002 FAX 06-6911-1006

WEB <http://tsubaki-fukushikai.com/>

## 新年度のご挨拶

桜の花が舞う季節となり、今年も新年度を迎えることが出来ました。

前年度は心温まるご協力とご支援を賜り、椿福祉会各事業所も大過なく過ごすことが出来た事を改めて心より感謝申し上げます。

昨年は、地域ごとに状況の違いはあるものの、新型コロナウイルス感染症への対応が進み、日常生活・経済活動の正常化に向けて大きく変化しました。一方で、中国のゼロコロナ政策による経済活動への影響は継続しており、ロシアのウクライナ侵攻と戦争の長期化で原油や天然ガスなど多くの資源価格の上昇、サプライチェーンの混乱による物価の高騰が続いています。

また、今年に入っても、世界的な景気減速への懸念により、我々を取り巻く環境も厳しい状態が続くと想定されます。椿福祉会の事業所運営は比較的安定した運営を行っていますが、共通課題として人材の確保が待ったなしの状況となっています。今後、コロナが終息し景気が回復傾向となれば、より一層福祉・介護事業の人材確保は厳しくなることが予想されます。私たちが人材確保に向けて、あらゆる努力をしなければ、利用者サービスの低下が大変危惧されます。

魅力ある職場作り、働きやすい環境整備は大前提ですが、採用に向けた努力がより一層求められております。コロナ過については、私たち職員一同が今後とも利用者の方が毎日安心して暮らす為にも、手洗い・マスクなどの感染予防対策を引き続き行い安全な事業所運営を行って参りますのでご理解の程よろしくお願い申し上げます。

理事長 高部 真実





## 1年を振り返って

つるみ更生指導所ではこの1年で、花見、ミニ運動会、七夕、夏祭り、月見、ピクニック、ミニ文化祭、クリスマス会、節分の行事を行い、その他に、買い物支援、作業などに取り組みました。行事は、職員だけでなく利用者の方も役割を分担してもらい、楽しく開催することができ、どれも思い出深い行事になったと思います。

行事の他にも買い物支援として、昼食やおやつを近隣のスーパーや店舗に買いに行き、皆さん楽しそうに自分たちで選んだものを買物している姿を思い出します。

また、現在取り組んでいる作業についても、始

めた頃に比べると、正確に丁寧に作業を仕上げ、納品数も格段に増えてきて、利用者の皆さんの頑張りや支援員の工夫が噛み合った結果だと思っています。

2022年度を振り返ると、楽しかったことは勿論ですが、工夫が足りなかったことも思い浮かびます。この経験を活かして2023年度も利用者の皆さんが楽しく過ごせるように職員一同頑張りたいと思います。

(つるみ更生指導所 野見山)



## 作業工賃UPを目指して!!



軽作業の出来高表を作成しました。出来る度に、「できました」と誇らしげに報告する利用者さんや、照れくさいのか自分の名前を書いた紙を置いてそっと立ち去る利用者さんと様々です。その都度職員は点検をして、作業項目ごとに色分けしたマグネットを表に貼りつけ、達成度を可視化します。

1日の作業の振り返りとして、どんなことを頑張ったのか、どんな作業（製パン・清掃・畑・軽作業）をしたのか、利用者さん自身に考えてもらいます。「今日は、たくさんできた」や「疲れてたから少ない」と、自分自身を励ましたり、褒めたりと自己評価は様々

です。始めは、「何を書いたら良いの？」や、「何をしたのかな？」等、悩まれている利用者さんが多かったですが、次第にスラスラ振り返りを書けるようになりました。感想欄にも「掃除と作業をがんばりました」や「食パンをたくさん作りました」、「プロッコリーを収穫しました」と、頑張ったコメントが書かれています。一緒に振り返ることで、職員のモチベーションアップにも繋がり、利用者さんとのコミュニケーションの機会も増えました。今後も出来高表を活用して、作業意欲・作業工賃アップを目指します!!

(ワークセンターつるみの郷 原口)



## バレンタイン行事



2月19日の日曜日に、バレンタイン行事を行いました。チョコレートはもちろんですが、もう一品利用者さんにはサプライズで、利用者さんが大好きなマクドナルドのハンバーガーを用意しました。ハンバーガーを食べるのは約1年ぶりであり、ハンバーガーがあると知った利用者さんは朝から心待ちにしていました。

る食べ物を皆さん美味しそうに頬張っていました。ハンバーガーから食べる方やチョコレートから食べる方等、人によって様々で、好きな順番で食べ始めていました。飲み物はコーヒーとジュースからそれぞれ好きな物を選び、何杯もお代わりをして嬉しそうに飲んでいました。食べ終わると皆さん満足そうな表情をし、感想を尋ねると「美味しかった」と笑顔で返事が返ってきました。また利用者さんの嬉しそうな表情を見られるように、楽しい行事ができればいいなと思います。(つるみの郷 末岡)



待ち望んだ行事が始まり、「いただきます」の音頭と同時に目の前にあ



## 外食に行ってきました!!



3月14日(火)に男性ホームの利用者17名とショートステイの利用者2名の19名で鎌倉 Pasta に行ってきました。鎌倉 Pasta はホームの目の前にありますが、近いと意外と行かなもので「どんなところかな?」「楽しみ」とワクワクとして待ち遠しい思いでいっぱいでした。

メニューは、前菜、スープ、パン、パスタ、デザート、ドリンクのセットを注文しました。パスタは、好きな物を選べたので「たらこ、クリーム」と店に来る前から決めていた方、メニューがたくさんあるので「あれもこれも食べたい」と悩みながら決められている方もいました。頼んだパスタが唐辛子がきいていてどうしようと困っている利用者さんに「僕のと交換してあげる」と優しく声を掛けてくれる利用者さんもありました。久しぶりの外食、3つのホーム合同での行事だったので、食事中も会話が弾みました。みなさん普段以上に笑顔があふれており「また行きたいね。絶対に行こう」と次に期待を膨らませながら終了しました。

(グループホームつばき 松田)

